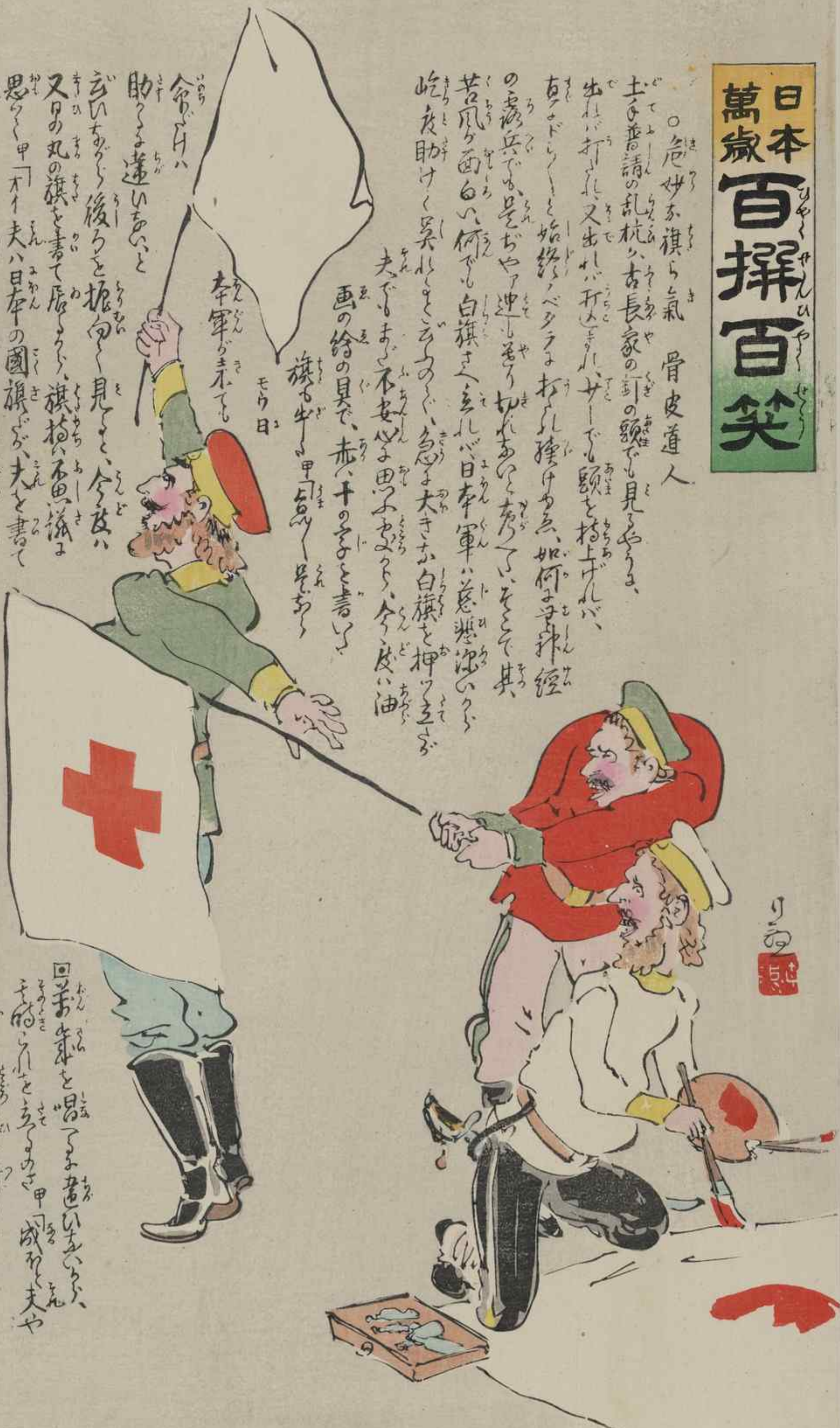


Kouropatriu secures safety - If one flag does not work, try another.

日本百擗百笑  
萬歲

○危妙な旗に氣 骨皮道人  
 土の普請の乱杭の古長家の釘の頭でも見せやうよ、  
 出れば打たれ又出れば打たれ、サアでも頭を括上げれば、  
 右に打たれと始終ベタラおれ種けおえ、如何に子孫經  
 の遺兵でも是ぢやア連も着る切れあつたつて、其  
 苦風を面白く何れも白旗を立れば日本軍は意懸ぬい  
 屹夜助けく呉れり、急な大きか白旗を押すまが  
 夫でも不安心な田つあやう、今度油  
 画の給の具で、赤十字のまを言ひ  
 旗も半の甲のまを言ひ  
 本軍が来て  
 命はハ  
 助る違ひあつと  
 云いあつて後ろを振向く見ると、今夜ハ  
 又日の丸の旗を書て居る、旗持はる魚様よ  
 思つて甲「オイ夫ハ日本の國旗が夫を書て  
 何れもこの「何れも」今日本軍が来てく



回美を本を唱へてま書いあつた、  
 子孫のれをま書いあつた、甲「成り夫や  
 ちいさな一日が附い

明治三十七年十月一日印刷全年今月十五日發行印刷兼發行者日本橋區吉川町二番地松本平吉(電話浪花三千八百十六番)